

# 水質基準項目の説明及び数値の取り扱い

(水質基準項目の説明)  
(検査方法及び検査結果数値の取り扱い)

# 水質基準項目の説明

水道水は水質基準項目（基準値）51項目、水質管理目標設定項目（目標値）27項目により水質が管理されています。水質基準項目は、全国的には検出率が低い物質（項目）であっても、地域、原水の種類又は浄水方法により、人の健康の保護又は生活上の支障を生じる恐れのあるものについて設定されています。これらの物質の用途または特徴は概ね次の表のとおりです。

## 水質基準項目（水道法に基づく水質基準）

No.	項目	説明
1	一般細菌	良好な水には少なく、汚染されている水ほど多い傾向があり、水の汚染の程度を示す1つの指標。
2	大腸菌	水道水中に大腸菌が検出された場合、糞便に由来する病原菌に汚染されている疑いがある。
3	カドミウム及びその化合物	鉱山排水、工場排水等から混入することがある。イタイイタイ病の原因物質として知られている。
4	水銀及びその化合物	鉱山排水、工場排水、農薬等から混入することがある。有機水銀化合物は、水俣病の原因物質として知られている。
5	セレン及びその化合物	ガラス、陶磁器の顔料、半導体の材料として使われている。
6	鉛及びその化合物	地質あるいは工場排水等の混入、または鉛管等に起因。
7	ヒ素及びその化合物	鉱山排水、工場排水、温泉等の混入により、河川等で検出されることがある。
8	六価クロム化合物	鉱山排水、工場排水等の混入によって河川で検出されることがある。
9	亜硝酸態窒素	窒素肥料、腐敗動植物、家庭排水、下水に由来する。メトヘモグロビン血症の原因物質。
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	工場排水等の混入によって河川で検出されることがある。シアン化カリウム（青酸カリ）は、毒物として知られている。
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	工場排水、肥料、下水、し尿などの混入によって増大する無機物。
12	フッ素及びその化合物	地質に由来するほか、鉱山排水、工場排水、温泉等から混入することもある。
13	ホウ素及びその化合物	工場排水や、温泉等の混入により河川等で検出されることがある。
14	四塩化炭素	エアゾル用噴射剤、金属洗浄用溶剤、フロンガスの原料等に使われている。
15	1,4-ジオキサン	化学工業などの業種で溶剤として使用されている。
16	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	熱可塑性樹脂の原料、溶剤等に使われている。地下水汚染物質として知られている。
17	ジクロロメタン	金属等の洗浄剤や溶剤、塗料剥離剤等に使われている。地下水汚染物質として知られている。
18	テトラクロロエチレン	ドライクリーニング等に使われている。地下水汚染物質として知られている。
19	トリクロロエチレン	金属洗浄用溶剤等に使われている。地下水汚染物質として知られている。
20	ベンゼン	化学合成原料等に使われている。地下水汚染物質として知られている。
21	塩素酸	消毒剤の次亜塩素酸ナトリウム及び二酸化塩素の分解生成物。
22	クロロ酢酸	浄水過程で、原水中の有機物と消毒剤の塩素が反応して生成される。

## 水質基準項目

No.	項目	説明
23	クロロホルム	浄水過程で生成されるトリハロメタンの成分のひとつ。
24	ジクロロ酢酸	浄水過程で、原水中の有機物と消毒剤の塩素が反応して生成される。
25	ジブロモクロロメタン	浄水過程で生成されるトリハロメタンの成分のひとつ。
26	臭素酸	オゾン処理時や消毒剤の次亜塩素酸ナトリウム製造時に不純物の臭素が酸化され臭素酸が生成される。
27	総トリハロメタン	クロロホルム、ジブロモクロロメタン、ブロモジクロロメタン、ブromoホルムの濃度の総和。
28	トリクロロ酢酸	浄水過程で、原水中の有機物と消毒剤の塩素が反応して生成される。
29	ブロモジクロロメタン	浄水過程で生成されるトリハロメタンの成分のひとつ。
30	ブromoホルム	浄水過程で生成されるトリハロメタンの成分のひとつ。
31	ホルムアルデヒド	浄水過程で、原水中の有機物と消毒剤の塩素が反応して生成される。
32	亜鉛及びその化合物	鉱山排水、工場排水の混入または亜鉛メッキ鋼管からの溶出により検出されることがある。
33	アルミニウム及びその化合物	凝集剤として浄水処理に使われる。高濃度で含まれると白濁の原因になる。
34	鉄及びその化合物	主として地質によるが、鉄管、鉱山排水、工場排水が原因となることもある。
35	銅及びその化合物	鉱山排水、工場排水の混入や銅管、真鍮器具等からの溶出により検出されることがある。
36	ナトリウム及びその化合物	医薬、食品、ガラス等に幅広く使われており、人体には大量に摂取されている。
37	マンガン及びその化合物	鉱山排水、工場排水等のほか、地質により河川水等で検出されることがある。
38	塩化物イオン	多くが地質に由来するが、下水、工場排水、し尿などの混入によって増加する。
39	カルシウム、マグネシウム等（硬度）	カルシウム、マグネシウムイオンの合計量、主に地質に由来。硬度が低いと淡白な味に、高いと硬くてしつこい味になる。
40	蒸発残留物	水を蒸発乾固したときに残る物質。
41	陰イオン界面活性剤	家庭排水、工場排水等の混入に由来し、高濃度に含まれると、発泡の原因となる。
42	ジェオスミン	藍藻類が産生するかび臭原因物質で、活性炭処理で除去。
43	2-メチルイソボルネオール	藍藻類が産生するかび臭原因物質で、活性炭処理で除去。
44	非イオン界面活性剤	家庭排水、工場排水等の混入により検出されることがある。
45	フェノール類	化学工場排水等の混入により河川水等で検出されることがある。異臭味の原因となる。
46	有機物（TOC）	全有機炭素（total organic carbon）。土壌由来のほか、し尿、下水、工場排水等の混入で増加する有機物汚染の指標。
47	pH値	pH値が7.0のときは中性、これより数値が大きくなるとアルカリ性、小さくなると酸性。
48	味	地質によるほか、工場排水の混入や藻類等生物の繁殖により、水の味が異なって感じられる。
49	臭気	藻類等生物の繁殖、工場排水、下水の混入、地質等によって臭気を感じ方に違いが表れる。
50	色度	水の着色の程度を示す。
51	濁度	水の濁りの程度を示す。

## 水質管理目標設定項目

(水質基準として設定しない項目であっても、今後水道水中に検出される可能性のある物質など、水道水質管理上留意すべき項目)

No.	項目	説明
1	アンチモン及びその化合物	半導体材料、鉛、錫などの合金、顔料。主な鉱石は輝安鉱。
2	ウラン及びその化合物	花崗岩や他の鉱床に広く存在する。用途は主に核燃料。ラットを用いた飲水投与試験で腎障害が認められた。
3	ニッケル及びその化合物	特殊鋼、電熱線、メッキ、顔料、触媒原料、重油に多く含まれる。
4	1,2-ジクロロエタン	塩化ビニルモノマーの原料。有機溶媒、殺虫剤にも使用される。
5	トルエン	代表的な有機溶剤。シンナー、接着剤、塗料、印刷用インキ等に多く使用。
6	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	プラスチック可塑剤のフタル酸エステルの一つ。ポリ塩化ビニルのフィルム、ホース等に使用。
7	亜塩素酸	浄水処理における、塩素の代替酸化剤・消毒剤、水の消毒、臭味の制御、セルロース・紙パルプの漂白、日焼け落しに使用。
8	二酸化塩素	浄水処理過程において主に酸化剤として使用。
9	ジクロロアセトニトリル	遊離塩素とフミン質、藻類、アミノ酸が反応して出来る副生成物。
10	抱水クロラール	遊離塩素とフミン質、藻類、アミノ酸が反応して出来る副生成物。
11	農薬類	使用目的から殺虫剤、殺菌剤、除草剤等に分類される。
12	残留塩素	水にカルキ臭を与え、濃度が高いと水の味をまずくする。
13	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	カルシウム、マグネシウムイオンの合計量。
14	マンガン及びその化合物	鉱山排水、工場排水等のほか、地質により河川水等で検出されることがある。
15	遊離炭酸	水にさわやかな味を与えるが、多いと刺激が強くなる。
16	1,1,1-トリクロロエタン	金属の洗浄、ドライクリーニング溶剤等に使用。
17	メチル-t-ブチルエーテル	ガソリンのオクタン価向上剤等に使用されていた。
18	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	下水、工場排水、し尿等により増大する。
19	臭気強度(TON)	水源の状況により様々なおいがつくことがある。
20	蒸発残留物	水を蒸発乾固したときに残る物質。
21	濁度	水の濁りの程度を示している。
22	pH値	pH値が7.0のときは中性、これより数値が大きくなるとアルカリ性、小さくなると酸性。
23	腐食性(ランゲリア指数)	水が金属の水道管を腐食させるかどうかの程度を判定する指標。
24	従属栄養細菌	浄水処理や消毒の効果を評価するために目標値が設定されている。
25	1,1-ジクロロエチレン	家庭用ラップ、食品包装用フィルムの原料として使われている。
26	アルミニウム及びその化合物	凝集剤として浄水処理に使われる。高濃度で含まれると白濁の原因になる。
27	ペンタフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOA)	消火剤、コーティング剤等として使用されてきたが、環境中で分解されにくく蓄積性があることから、製造、使用等が規制されている。

# 検査方法及び検査結果数値の取り扱い

## 水質基準項目（水道法に基づく水質基準）

No.	項目名	水質基準値	検査方法	表示方法		定量下限値
				有効数字	小数桁数	
1	一般細菌	100個/mL以下	標準寒天培地法	2	整数	1個/mL
2	大腸菌	検出されないこと	特定酵素基質培地法 (ピルビン酸添加XGal-MUG培地)	—	—	—
3	カドミウム及びその化合物	0.003mg/L以下	ICP-MS法	2	4位	0.0003mg/L
4	水銀及びその化合物	0.0005mg/L以下	還元気化-原子吸光度法	2	5位	0.00005mg/L
5	セレン及びその化合物	0.01mg/L以下	ICP-MS法	2	3位	0.001mg/L
6	鉛及びその化合物	0.01mg/L以下	ICP-MS法	2	3位	0.001mg/L
7	ヒ素及びその化合物	0.01mg/L以下	ICP-MS法	2	3位	0.001mg/L
8	六価クロム化合物	0.02mg/L以下	ICP-MS法	2	3位	0.002mg/L
9	亜硝酸態窒素	0.04mg/L以下	イオンクロマトグラフ法（陰イオン）	2	3位	0.004mg/L
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/L以下	イオンクロマトグラフ-ポストカラム吸光度法	2	3位	0.0005mg/L、0.0005mg/L
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/L以下	イオンクロマトグラフ法（陰イオン）	2	2位	0.2mg/L、0.004mg/L
12	フッ素及びその化合物	0.8mg/L以下	イオンクロマトグラフ法（陰イオン）	2	2位	0.02mg/L
13	ホウ素及びその化合物	1.0mg/L以下	ICP-MS法	2	2位	0.01mg/L
14	四塩化炭素	0.002mg/L以下	ヘッドスペース-GC-MS法	2	4位	0.0001mg/L
15	1,4-ジジオキサン	0.05mg/L以下	ヘッドスペース-GC-MS法	2	3位	0.004mg/L
16	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	ヘッドスペース-GC-MS法	2	3位	0.001mg/L 0.001mg/L
17	ジクロロメタン	0.02mg/L以下	ヘッドスペース-GC-MS法	2	3位	0.001mg/L
18	テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	ヘッドスペース-GC-MS法	2	3位	0.001mg/L
19	トリクロロエチレン	0.01mg/L以下	ヘッドスペース-GC-MS法	2	3位	0.001mg/L
20	ベンゼン	0.01mg/L以下	ヘッドスペース-GC-MS法	2	3位	0.001mg/L
21	塩素酸	0.6mg/L以下	イオンクロマトグラフ法（陰イオン）	2	2位	0.04mg/L
22	クロロ酢酸	0.02mg/L以下	溶媒抽出-誘導体化-GC-MS法	2	3位	0.001mg/L
23	クロロホルム	0.06mg/L以下	ヘッドスペース-GC-MS法	2	3位	0.001mg/L
24	ジクロロ酢酸	0.03mg/L以下	溶媒抽出-誘導体化-GC-MS法	2	3位	0.001mg/L
25	ジブromクロロメタン	0.1mg/L以下	ヘッドスペース-GC-MS法	2	3位	0.001mg/L
26	臭素酸	0.01mg/L以下	イオンクロマトグラフ-ポストカラム吸光度法	2	3位	0.001mg/L
27	総トリハロメタン	0.1mg/L以下	ヘッドスペース-GC-MS法	—	3位	—
28	トリクロロ酢酸	0.03mg/L以下	溶媒抽出-誘導体化-GC-MS法	2	3位	0.001mg/L
29	ブromジクロロメタン	0.03mg/L以下	ヘッドスペース-GC-MS法	2	3位	0.001mg/L
30	ブromホルム	0.09mg/L以下	ヘッドスペース-GC-MS法	2	3位	0.001mg/L
31	ホルムアルデヒド	0.08mg/L以下	溶媒抽出-誘導体化-GC-MS法	2	3位	0.001mg/L
32	亜鉛及びその化合物	1.0mg/L以下	ICP-MS法	2	3位	0.003mg/L
33	アルミニウム及びその化合物	0.2mg/L以下	ICP-MS法	2	2位	0.01mg/L
34	鉄及びその化合物	0.3mg/L以下	ICP-MS法	2	2位	0.03mg/L
35	銅及びその化合物	1.0mg/L以下	ICP-MS法	2	3位	0.005mg/L
36	ナトリウム及びその化合物	200mg/L以下	イオンクロマトグラフ法（陽イオン）	2	1位	1.0mg/L
37	マンガン及びその化合物	0.05mg/L以下	ICP-MS法	2	3位	0.005mg/L
38	塩化物イオン	200mg/L以下	イオンクロマトグラフ法（陰イオン）	3	1位	0.8mg/L
39	カルシウム、マグネシウム等（硬度）	300mg/L以下	イオンクロマトグラフ法（陽イオン）	3	1位	2.0mg/L、0.5mg/L
40	蒸発残留物	500mg/L以下	重量法	3	整数	—
41	陰イオン界面活性剤	0.2mg/L以下 (①～⑤の合計)	固相抽出-高速液体クロマトグラフ法	2	2位	0.01mg/L
	①デシルヘンゼンスルホン酸ナトリウム					0.002mg/L
	②カドシルヘンゼンスルホン酸ナトリウム					0.002mg/L
	③ドデシルヘンゼンスルホン酸ナトリウム					0.002mg/L
	④トリデシルヘンゼンスルホン酸ナトリウム					0.002mg/L
⑤テトラデシルヘンゼンスルホン酸ナトリウム	0.002mg/L					
42	ジェオスミン	0.00001mg/L以下	パージ・トラップ-GC-MS法	2	6位	0.000001mg/L
43	2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/L以下	パージ・トラップ-GC-MS法	2	6位	0.000001mg/L
44	非イオン界面活性剤	0.02mg/L以下	固相抽出-吸光度法	2	3位	0.005mg/L
45	フェノール類	0.005mg/L以下 (各クロロフェノール②～⑥ をフェノールに換算し、 ①との合計)	固相抽出-誘導体化-GC-MS法	2	3位	0.0005mg/L
	①フェノール					0.0001mg/L
	②2-クロロフェノール					0.0001mg/L
	③4-クロロフェノール					0.0001mg/L
	④2,4-ジクロロフェノール					0.0001mg/L
	⑤2,6-ジクロロフェノール					0.0001mg/L
⑥2,4,6-トリクロロフェノール	0.0001mg/L					
46	有機物(TOC)	3mg/L以下	全有機炭素計測定法	2	1位	0.2mg/L
47	pH値	5.8以上8.6以下	ガラス電極法	—	1位	—
48	味	異常でないこと	官能法	—	—	—
49	臭気	異常でないこと	官能法	—	—	—
50	色度	5度以下	透過光測定法	2	1位	0.5mg/L
51	濁度	2度以下	積分球式光光度法	2	1位	0.1mg/L

## 水質管理目標設定項目

No.	項目名	目標値	検査方法	表示方法		定量下限値
				有効数字	小数桁数	
1	アンチモン及びその化合物	0.02 mg/L以下	ICP-MS法	2	3位	0.002 mg/L
2	ウラン及びその化合物	0.002 mg/L以下 (暫定)	ICP-MS法	2	4位	0.0002 mg/L
3	ニッケル及びその化合物	0.02 mg/L以下	ICP-MS法	2	3位	0.001 mg/L
4	1,2-ジクロロエタン	0.004 mg/L以下	ヘッドスペース-GC-MS法	2	4位	0.0001 mg/L
5	トルエン	0.4 mg/L以下	ヘッドスペース-GC-MS法	2	3位	0.001 mg/L
6	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	0.08 mg/L以下	溶媒抽出-GC-MS法	2	3位	0.008 mg/L
7	亜塩素酸	0.6 mg/L以下	イオンクロマトグラフ法 (陰イオン)	2	2位	0.06 mg/L
8	二酸化塩素	0.6 mg/L以下	—	—	—	—
9	ジクロロアセトニトリル	0.01 mg/L以下 (暫定)	溶媒抽出-GC-MS法	2	3位	0.001 mg/L
10	抱水クロラール	0.02 mg/L以下 (暫定)	溶媒抽出-GC-MS法	2	3位	0.001 mg/L
11	農薬類	検出値と目標値の比の和として、1以下	農薬類参照	2	4位	—
12	残留塩素	1mg/L以下	吸光光度法	2	1位	0.1 mg/L
13	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	10 mg/L以上100 mg/L以下	イオンクロマトグラフ法 (陽イオン)	3	1位	2.0 mg/L、0.5 mg/L
14	マンガン及びその化合物	0.01 mg/L以下	ICP-MS法	2	3位	0.005 mg/L
15	遊離炭酸	20 mg/L以下	滴定法	2	1位	0.5 mg/L
16	1,1,1-トリクロロエタン	0.3 mg/L以下	ヘッドスペース-GC-MS法	2	3位	0.001 mg/L
17	メチル-tert-ブチルエーテル (MTBE)	0.02 mg/L以下	ヘッドスペース-GC-MS法	2	3位	0.001 mg/L
18	有機物等 (過マンガン酸カリウム消費量)	3 mg/L以下	滴定法	2	1位	0.1 mg/L
19	臭気強度 (TON)	3以下	官能法	2	整数	1
20	蒸発残留物	30mg/L以上200mg/L以下	重量法	3	整数	—
21	濁度	1度以下	積分球式光電光度法	2	1位	0.1度
22	pH値	7.5程度	ガラス電極法	2	1位	—
23	腐食性 (ランゲリア指数)	-1程度以上とし、極力0に近づける	計算法	2	1位	—
24	従属栄養細菌	1mlの検水で形成される集落数が2000以下 (暫定)	R2A寒天培地法	2	整数	1個/mL
25	1,1-ジクロロエチレン	0.1 mg/L以下	ヘッドスペース-GC-MS法	2	3位	0.001 mg/L
26	アルミニウム及びその化合物	0.1 mg/L以下	ICP-MS法	2	2位	0.01 mg/L
27	PFOS及びPFOA	0.00005 mg/L以下 (暫定)	固相抽出-LC-MS法	2	6位	0.000005 mg/L

## 農薬類

No.	農薬名	目標値(mg/L)	検査方法	用途
1	1,3-ジクロロプロペン (D-D)	0.05	ヘッドスペース-GC-MS法	殺虫剤
2	2,2-DPA (ダラボン)	0.08	LC-MS法	除草剤
3	2,4-D (2,4-PA)	0.02	固相抽出-LC-MS法	除草剤
4	EPN	0.004	固相抽出-GC-MS法	殺虫剤
5	MCPA	0.005	—	除草剤
6	アシュラム	0.9	固相抽出-LC-MS法	除草剤
7	アセフェート	0.006	LC-MS法	殺虫、殺菌剤
8	アトラジン	0.01	固相抽出-GC-MS法	除草剤
9	アニロホス	0.003	固相抽出-GC-MS法	除草剤
10	アミトラズ	0.006	—	殺虫剤
11	アラクロール	0.03	固相抽出-GC-MS法	除草剤
12	イソキサチオン	0.005	固相抽出-GC-MS法	殺虫剤
13	イソフェンホス	0.001	固相抽出-GC-MS法	殺菌剤
14	イソプロカルブ (MIPC)	0.01	固相抽出-GC-MS法	殺虫剤
15	イソプロチオラン (IPT)	0.3	固相抽出-GC-MS法	殺虫、殺菌、植物成長調整剤
16	イブフェンカルバゾン	0.002	—	除草剤
17	イプロベンホス (IBP)	0.09	固相抽出-GC-MS法	殺菌剤
18	イミノクタジン	0.006	ポストカラム-LC法	殺虫、殺菌剤
19	インダノファン	0.009	固相抽出-GC-MS法	除草剤
20	エスプロカルブ	0.03	固相抽出-GC-MS法	除草剤
21	エトフェンブロックス	0.08	固相抽出-GC-MS法	殺虫、殺菌剤
22	エンドスルファン (ベンゾエピン)	0.01	—	殺虫剤
23	オキサジクロメホン	0.02	—	除草剤
24	オキシ銅 (有機銅)	0.03	LC-MS法	殺虫、殺菌剤
25	オリサストロビン	0.1	—	殺虫、殺菌剤
26	カズサホス	0.0006	固相抽出-GC-MS法	殺虫剤
27	カフェンストロール	0.008	固相抽出-GC-MS法	殺虫、除草剤
28	カルタップ	0.08	—	殺虫、殺菌、除草剤
29	カルバリル (NAC)	0.02	固相抽出-LC-MS法	殺虫剤
30	カルボフラン	0.0003	固相抽出-LC-MS法	代謝物

# 農薬類

No.	農薬名	目標値(mg/L)	検査方法	用途
31	キノクラミン (ACN)	0.005	固相抽出-GC-MS法	除草剤
32	キャブタン	0.3	固相抽出-GC-MS法	殺菌剤
33	クミルロン	0.03	固相抽出-GC-MS法	除草剤
34	グリホサート	2	—	除草剤
35	グルホシネート	0.02	—	除草、植物成長調整剤
36	クロメプロップ	0.02	—	除草剤
37	クロルニトロフェン (CNP)	0.0001	固相抽出-GC-MS法	除草剤
38	クロルピリホス	0.003	固相抽出-GC-MS法	殺虫剤
39	クロタロニル (TPN)	0.05	固相抽出-GC-MS法	殺虫、殺菌剤
40	シアナジン	0.001	固相抽出-GC-MS法	除草剤
41	シアノホス (CYAP)	0.003	固相抽出-GC-MS法	殺虫剤
42	ジウロン (DCMU)	0.02	固相抽出-LC-MS法	除草剤
43	ジクロベニル (DBN)	0.03	固相抽出-GC-MS法	除草剤
44	ジクロルボス (DDVP)	0.008	固相抽出-GC-MS法	殺虫剤
45	ジクワット	0.01	—	除草剤
46	ジスルホトン (エチルチオメトン)	0.004	固相抽出-GC-MS法	殺虫剤
47	ジチオカルバメート系農薬	0.005	—	殺虫、殺菌剤
48	ジチオピル	0.009	固相抽出-GC-MS法	除草剤
49	シハロホップブチル	0.006	固相抽出-GC-MS法	除草剤
50	シマジン (CAT)	0.003	固相抽出-GC-MS法	除草剤
51	ジメタメトリン	0.02	固相抽出-GC-MS法	除草剤
52	ジメトエート	0.05	固相抽出-GC-MS法	殺虫剤
53	シメトリン	0.03	固相抽出-GC-MS法	除草剤
54	ダイアジノン	0.003	固相抽出-GC-MS法	殺虫、殺菌剤
55	ダイムロン	0.8	固相抽出-LC-MS法	殺虫、殺菌、除草剤
56	ダゾメット、メタム (カーバム) 及びメチルイソチオシアネート	0.01	—	殺菌剤
57	チアジニル	0.1	—	殺虫、殺菌剤
58	チウラム	0.02	固相抽出-LC-MS法	殺虫、殺菌剤
59	チオジカルブ	0.08	固相抽出-LC-MS法	殺虫剤
60	チオファネートメチル	0.3	固相抽出-LC-MS法	殺虫、殺菌剤
61	チオベンカルブ	0.02	固相抽出-GC-MS法	除草剤
62	テフリルトリオン	0.002	—	除草剤
63	テルブカルブ (MBPMC)	0.02	固相抽出-GC-MS法	除草剤
64	トリクロピル	0.006	固相抽出-LC-MS法	除草剤
65	トリクロロン (DEP)	0.005	固相抽出-GC-MS法	殺虫剤
66	トリシクラゾール	0.1	固相抽出-LC-MS法	殺虫、殺菌、植物成長調整剤
67	トリフルラリン	0.06	固相抽出-GC-MS法	除草剤
68	ナプロバミド	0.03	固相抽出-GC-MS法	除草剤
69	バラコート	0.005	—	除草剤
70	ビペロホス	0.0009	固相抽出-GC-MS法	除草剤
71	ピラクロニル	0.01	—	除草剤
72	ピラゾキシフェン	0.004	固相抽出-GC-MS法	除草剤
73	ピラゾリネート (ピラゾレート)	0.02	—	除草剤
74	ピリダフェンチオン	0.002	固相抽出-GC-MS法	殺虫剤
75	ピリブチカルブ	0.02	固相抽出-GC-MS法	除草剤
76	ピロキロン	0.05	固相抽出-GC-MS法	殺虫、殺菌剤
77	フィプロニル	0.0005	固相抽出-LC-MS法	殺虫、殺菌剤
78	フェニトロチオン (MEP)	0.01	固相抽出-GC-MS法	殺虫、殺菌、植物成長調整剤
79	フェノブカルブ (BPMC)	0.03	固相抽出-GC-MS法	殺虫、殺菌剤
80	フェリムゾン	0.05	—	殺虫、殺菌剤
81	フェンチオン (MPP)	0.006	固相抽出-GC-MS法	殺虫剤
82	フェントエート (PAP)	0.007	固相抽出-GC-MS法	殺虫、殺菌剤
83	フェントラザミド	0.01	—	除草剤
84	フサライド	0.1	固相抽出-GC-MS法	殺虫、殺菌剤
85	ブタクロール	0.03	固相抽出-GC-MS法	除草剤
86	ブタミホス	0.02	固相抽出-GC-MS法	除草剤
87	ブプロフェジン	0.02	固相抽出-GC-MS法	殺虫、殺菌剤
88	フルアジナム	0.03	—	殺菌剤
89	プレチラクロール	0.05	固相抽出-GC-MS法	除草剤
90	プロシミドン	0.09	固相抽出-GC-MS法	殺菌剤
91	プロチオホス	0.007	—	殺虫剤
92	プロピコナゾール	0.05	固相抽出-GC-MS法	殺菌剤
93	プロピザミド	0.05	固相抽出-GC-MS法	除草剤
94	プロベナゾール	0.03	固相抽出-LC-MS法	殺虫、殺菌剤
95	プロモブチド	0.1	固相抽出-GC-MS法	殺虫、除草剤
96	ペノミル	0.02	固相抽出-LC-MS法	殺菌剤

## 農薬類

No.	農薬名	目標値(mg/L)	検査方法	用途
97	ベンシクロン	0.1	固相抽出-GC-MS法	殺虫、殺菌剤
98	ベンゾピシクロン	0.09	—	除草剤
99	ベンゾフェナップ	0.005	—	除草剤
100	ペンタゾン	0.2	固相抽出-LC-MS法	除草剤
101	ペンディメタリン	0.3	固相抽出-GC-MS法	除草、植物成長調整剤
102	ベンフルカルブ	0.02	固相抽出-LC-MS法	殺虫、殺菌剤
103	ベンフルラリン (ベスロジン)	0.01	固相抽出-GC-MS法	除草剤
104	ベンフレゼート	0.07	固相抽出-GC-MS法	除草剤
105	ホスチアゼート	0.005	固相抽出-GC-MS法	殺虫剤
106	マラチオン (マラソン)	0.7	固相抽出-GC-MS法	殺虫剤
107	メコプロップ (MCPP)	0.05	固相抽出-LC-MS法	除草剤
108	メソミル	0.03	固相抽出-LC-MS法	殺虫剤
109	メタラキシル	0.2	固相抽出-GC-MS法	殺虫、殺菌剤
110	メチダチオン (DMTP)	0.004	固相抽出-GC-MS法	殺虫剤
111	メトミノストロピン	0.04	固相抽出-GC-MS法	殺虫、殺菌剤
112	メトリブジン	0.03	固相抽出-GC-MS法	除草剤
113	メフェナセット	0.02	固相抽出-GC-MS法	除草剤
114	メプロニル	0.1	固相抽出-GC-MS法	殺虫、殺菌剤
115	モリネート	0.005	固相抽出-GC-MS法	除草剤

## その他の項目

No.	項目名	検査方法	表示方法		定量下限値
			有効数字	小数桁数	
1	気温	水銀温度計	3	1位	0.1℃
2	水温	水銀温度計	3	1位	0.1℃
3	アンモニア態窒素	イオンクロマトグラフ法(陽イオン)	2	2位	0.02 mg/L
4	アルカリ度	滴定法	3	1位	0.5 mg/L
5	硫酸イオン	イオンクロマトグラフ法(陰イオン)	3	1位	2.0 mg/L
6	カリウム	イオンクロマトグラフ法(陽イオン)	3	2位	0.50 mg/L
7	電気伝導率	電極法	3	整数	1 μS/cm
8	溶存酸素	溶存酸素計、ウィンクラー法	3	1位	0.1 mg/L
9	BOD	希釈法	2	1位	0.5 mg/L
10	COD	過マンガン酸カリウム滴定法	2	1位	0.1 mg/L
11	浮遊物質	ろ過法	3	整数	1 mg/L
12	総窒素	紫外線吸光度法	3	2位	0.05 mg/L
13	総リン	ベルオキシ二硫酸カリウム分解法	2	3位	0.003 mg/L
14	大腸菌(特定酵素基質培地法)	特定酵素基質培地法(MMO-MUG培地)	2	1位	1.0 MPN/100mL
15	大腸菌群(特定酵素基質培地法)	特定酵素基質培地法(MMO-MUG培地)	2	1位	1.0 MPN/100mL
16	大腸菌群(デソキシコール酸塩寒天培地法)	デソキシコール酸塩寒天培地法	2	整数	1個/mL
17	嫌気性芽胞菌	ハンドフォード改良寒天培地法	2	整数	1個/100mL
18	クリプトスポリジウム	蛍光抗体染色法	2	整数	原水 1個/10L 浄水 1個/20L
19	ジアルジア	蛍光抗体染色法	2	整数	原水 1個/10L 浄水 1個/20L
20	クロロフィル a	アセトン抽出吸光度法	2	1位	0.1 μg/L
21	生物総数	遠心沈澱法	—	整数	1個/mL
22	ヨウ素131	ゲルマニウム半導体核種分析法	2	1位	—(Bq/kg)
23	セシウム134	ゲルマニウム半導体核種分析法	2	1位	—(Bq/kg)
24	セシウム137	ゲルマニウム半導体核種分析法	2	1位	—(Bq/kg)

\*検査項目、基準値および検査結果の表示上の取り決め  
 定量下限値未満の測定結果については、データ処理の関係上 0 として取り扱う。



## 2022年度水質年報

発行 2023年12月  
編集 桐生市水道局浄水課水質センター  
所在地 〒376-0027  
群馬県桐生市元宿町14番37号  
Tel 0277-46-2376  
Fax 0277-43-5145  
E-mail [suishitsu@city.kiryu.lg.jp](mailto:suishitsu@city.kiryu.lg.jp)